

終活やることリスト

一言で終活といっても、範囲が広く、やらなければならないことがたくさんあります。

その中で優先してやるべき項目から手をつけていきましょう。

| | |
|---------------|---|
| ①エンディングノートの用意 | <ul style="list-style-type: none"> ● 自身の情報(氏名、生年月日、本籍地など) ● 所有している資産状況(金融機関名、口座の種類、口座番号、不動産やその他の資産など) ● 加入している保険の内容および保険証券の保管場所 ● 年金関係書類の保管場所 ● 医療や介護に関する意向(入院したい病院や施設、延命治療の希望、臓器提供の意思、医療費や介護費用の支払い方法、介護状態になった際に介護してもらいたい方の名前など) ● 葬儀の方法 ● 自身に万が一のことがあった際に連絡して欲しい方の連絡先 |
| ②遺言書の作成 | <ul style="list-style-type: none"> ● 自筆証書遺言または秘密証書遺言は自身で作成することができますが、公正証書遺言(有償)であればミスがなく安心です。 |
| ③生前整理を行う | <ul style="list-style-type: none"> ● 不要品を捨てる(着ない服や使わない物など) ● パソコンやスマホのデータ削除(登録情報の整理) ● 使っていない口座やクレジットカードを解約する |
| ④葬式・お墓の生前準備 | <ul style="list-style-type: none"> ● 葬儀の形式やどのお墓に入りたいかなどの希望を伝える(エンディングノートに記載するほか、家族と相談する) ● 葬儀に呼んで欲しい知人や友人がいる場合は、必ず名前と連絡先をエンディングノートに記入したり家族に伝えておく。 |
| ⑤老後の生活資金を試算する | <ul style="list-style-type: none"> ● 年金収入がどのくらいあるのか、毎月の収支はどうかなど確認するとともに、予定している支出があるなら、その資金はどこから捻出するかも考えておきましょう。 ● 特に家の修繕費用や医療費、さらには介護状態になった際の介護費用は思ったよりも高額になります。 |

夫婦で片方が亡くなった場合、年金収入が下がることも考慮しておかなければなりません。その際、それまでの生活を続けていけるのか、住んでいる家をどうするかなど考える必要があるでしょう。相続する方がいない場合は、リバースモーゲージを活用することで、まとまった資金を得ることもできますし、近いうちに介護施設に入ることを考えているなら、リースバックも有効な活用手段です。